

第1回地域景観ワークショップ in 光



プログラム

わがまちお宝発見ツアー!



そこに、暮らしているとなかなか気づかないけれど、よそから来た人はとても心地よいと感じる景色、風景があります。よそから来てわからないけれど、そこに暮らしている人だからこそ知る心地よい季節・時間もあります。いつもとはちょっと違う視点から、いつもとはちょっと違うものにも目を向けて、まちを歩いてみましょう。まちの宝物がきっとたくさん発見できることでしょう。

日時：平成17年10月15日（土）13：00～16：30

場所：光市室積公民館及びその周辺



●開会あいさつ 光市助役

13：00～13：10

●地元プチ情報 江枝忠昭さん（室積公民館長）

13：10～13：25



●景観セミナー 岡村和典さん（山口県景観アドバイザー）

13：25～14：05

●ワークショップ説明 ワークショップ趣旨説明・役割分担

14：05～14：15



●まち歩き グループ毎に課題にそって宝物を探します。

14：15～15：15

●壁新聞づくり グループ毎に一枚の壁新聞にまとめます。

15：15～15：50

●グループ発表 各グループ持ち時間3分で成果を発表します。

15：50～16：10

●まとめ 本日のまとめをします。

16：10～16：25

●閉会あいさつ 山口県都市計画課調整監

16：25～16：30



報 告

参加者は、地元住民、中学生、大学生、県・市職員、NPO法人等約60人の参加がありました。

天候が危ぶまれていましたが、昼頃には雨も上がり、予定通り13時から地域景観ワークショップin光が開催されました。

まず、主催者あいさつがあり、光市長代理で津村助役よりあいさつがありました。その後、県職員により景観法、山口県景観ビジョンの説明がありました。



地元フキ情報として、室積公民館長の江枝さんより、「歴史とロマンのまち海商通りさんさく」として象鼻ヶ岬、北前船の寄る港・海商通り、地域の人たちの生活路あいご、古い建物や寺社、御手洗湾など心和む古き港町についての講演がありました。

山口県景観アドバイザーの岡村さんより、「どうして景観って大切なのか？」として派手な建物・屋外広告物等が景観を悪化させている等の話がありました。

ワークショップの説明、まち歩き、壁新聞づくり、発表は、ファシリテーターの水沼さんが担当し、作業が進められました。



最後に、山口県都市計画課 西村調整監より、閉会のあいさつがありました。

